

令和8年2月5日

国立がん研究センター理事長 殿  
国立がん研究センター中央病院長 殿

国立がん研究センター中央病院  
医療安全外部監査委員会  
委員長 山本 修一

## 令和7年度第2回医療安全外部監査委員会 監査結果報告書

1. 日 時 : 令和7年12月19日(金) 10時00分～12時00分 第1会議室

### 2. 監査委員

独立行政法人地域医療機能推進機構	山本 修一	理事長
千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部	相馬 孝博	特任教授(WEB 参加)
順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療安全機能管理室	山本 宗孝	副室長
さわやか法律事務所	田島 優子	弁護士(書面評価のみ)
一般社団法人 CSR プロジェクト	桜井 なおみ	代表理事

### 3. 令和7年度第1回医療安全外部監査委員会監査結果に対する対応

- 1) 診療経過報告書の事案について、関係部署からの再発防止策を基に、その後のモニタリングを含め、医療事故等防止対策委員会で最終的に検討した結果を、組織の結論として記録しておくことをお願いする。

日頃から再発防止策に向けた取り組みをされていることは承知しているが、厚生労働省での「特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会」でも、重大事象が把握された場合の当該部署への必要な指導等対応について、どのようにプロセスを明確化するかを論点に議論されているため、ご対応いただきたい。

#### <対応>

事案に対する組織の検討結果やモニタリング等、一連のプロセスを一文書で確認できるよう報告書を【内容と経過】【病状や治療・処置についての説明内容】【事象発生後の説明内容及び対応】【事象が発生した要因】【再発防止策・医療事故等防止対策委員会における再発防止決定事項】【再発防止策の評価】【医療事故等防止対策委員会への最終報告】が記載できるフォーマットに変更した。報告書は医療事故等防止対策委員会で報告し議事録として残すこととした。

- 2) 救急カートの管理について、今回のような医薬品紛失に至ってしまうと多大な労力を要することになる。再び、同じような事例が発生した場合には、管理体制を抜本的に変えていく必要があるため、この機会に管理体制の見直しをご検討いただきたい。

#### <対応>

破断テープを使用することにより、救急カートを使用したことが誰でも分かるように変更した。それに伴い点検頻度を見直し、テープ破断の有無は毎日、定期的な薬品と物品の確認は月1回とした。

上記2点の対応について確認した。

#### 4. 令和7年度第2回医療安全外部監査委員会 監査結果

- 1) 臨床検査部門で実施している緊急事態発生時の対応訓練について、併存症を持つ患者も多く、各検査室はクローズドであるため、各検査室で発生しうる急変を想定したシミュレーションを実施し、日々注意喚起することが重要である。安全な検査体制構築のため、ご検討いただきたい。

#### 5. 総評

特定機能病院として求められる医療安全管理体制が十分に整備され、適切に機能していることを確認した。前回の指摘事項についても、遅滞なく改善に取り組み、タイムリーに是正が進められている点を評価する。年間目標については、PDCA サイクルに基づき計画的に推進されており、継続的改善の姿勢が明確である。

また、医療安全の取り組みや患者対応の基本を整理した資料など、貴院が作成する情報は信頼性が高く、院外へ向けて積極的に発信することで、他施設の医療安全の向上にも寄与し得る内容である。今後も引き続き、安全で質の高い医療の提供に尽力されることを期待する。

以 上